



船中便り

英知（かしこく）・気品（やさしく）・活力（たくましく）

柴田町立船岡中学校

〒989-1606 柴田町大字船岡字七作 26

TEL 0224-55-1162 Fax 0224-55-5444

(mail) info@funaoka-jhs.shibata-town.ed.jp

第9号 令和6年8月26日

船中サッカー一部 全国大会出場！ ～応援ありがとうございました～

この夏、船中を、柴田町を熱くさせてくれたニュースがありました。船中サッカー一部が中総体宮城県大会優勝、東北大会準優勝を果たし、全国大会に出場したことです。

一試合一試合毎に大きく成長し、全国32チームが戦う全国大会の舞台に立ったことは、サッカー部の生徒達にとって、一生の宝物になりました。また、同じ学校の仲間がこのような経験をしたことは、船中生にとって大きな誇りとなりました。

保護者の皆様、多くの地域の皆様に温かいお励ましや、ご支援をいただきありがとうございました。

	船中 サッカー一部	
主将：		副主将：
3年生：		
2年生：		
1年生：		
顧問：		

サッカー部 全国大会への軌跡

大河原地区大会 5 / 25 ~ 26 優勝	○予選リーグ ・対 白石市立東中 5-0で勝利, ・対 丸森町立丸森中 9-0で勝利, ○決勝トーナメント ・準決勝 対 大河原町立大河原中 6-0で勝利 ・決勝 対 川崎・船迫・白石中 1-0で勝利
宮城県大会 7 / 22 ~ 7 / 24 優勝	・1回戦 対 仙台市立幸町中 3-1で勝利 ・2回戦 対 東北学院中 1-0で勝利 ・準々決勝 対 仙台市立柳生中 4-0で勝利 ・準決勝 対 仙台市立南中山中 1-0で勝利 ・決勝 対 名取市立増田中 1-0で勝利
東北大会（秋田市） 7 / 31 ~ 8 / 2 準優勝	・2回戦 対 最上町立最上中（山形県代表） 4-2で勝利 ・準決勝 対 由利本荘市立本荘北中（秋田県代表） 5-2で勝利 ・決勝 対 青森山中（青森県代表） 0-8で惜敗
全国大会（石川県） 8 / 19	・一回戦 対 高川学園中（山口県代表） 0-6で惜敗



← 全国大会出場を記念し、柴田町より横断幕を作っていただきました。校門東側に飾っています。

ベガルタ仙台 とみたしんご 富田晋伍さん来校

全国大会に出場する前日の8月16日に、ベガルタ仙台元選手で、現在はクラブコミュニケーターを務める富田さんが、サッカー部を激励するために来校してくださいました。生徒の質問に答える形で、試合前日の過ごし方、技術面、体づくりについて等、教えていただくとともに、力強く励ましていただき、大きな力をいただきました。

このような機会を作っていただいた、柴田町、ベガルタ仙台の皆様、ありがとうございました。

※この時の様子は、下記でご覧になれます。

ベガルタ仙台 Youtube → <https://www.youtube.com/watch?v=nFjGbCMtW7k>

ベガルタ仙台オフィシャルウェブマガジン → <https://vegalta-socio-magazine.com/>

全国大会を終えて

サッカー部主将

サッカー部は宮城県大会優勝、東北大会準優勝、そして全国大会に出場し、目標だった県ベスト4を大きく超える結果を出すことができました。強豪校との対戦で厳しい試合がたくさんありましたが、一人一人が勝つことに集中して、最後まで戦い続けることができました。

このような結果を出すことができたのも、地域の皆さんからのご支援や、保護者の皆さんやOB・OGの皆さん、先生方や応援に来てくださった方、大会に協力してくださった方々のお陰です。そして、松村先生、村上先生、浅野先生のご指導のお陰です。その感謝の気持ちを伝えるために、チームとして、宿泊したホテルの方々や会場で運営に当たった方々に、自分達からあいさつをするなど、礼儀や感謝を徹底し大会に臨みました。また、試合でも感謝の気持ちを持ちプレーすることを心がけました。全体を通して、応援されるチームになることができたから、全国大会に出場することができたと思います。

これからも感謝の気持ちを忘れずに、この経験をこれからの生活に生かしていきたいと思っています。これまで船中サッカー部を支えてくださった皆さん、本当にありがとうございました。

サッカー部顧問

県大会ベスト4という目標を掲げ、「常に勝つ」チームを築いていくために、グラウンド上だけではなく、私生活も見直しながら、1年間自分達が「やらなければならないこと」を一杯頑張ってきました。様々なことがありながら地区大会、県大会、東北大会と勝ち上がることができ、全国大会出場を決めることができました。全国大会では、一回戦敗退という結果になりましたが、強豪校相手に怯まず戦った姿は立派だったと思います。これは、サッカー部員の頑張りだけではなく、保護者の皆様の支え、同級生達の支え、関わっていただいた先生方の支え、役場、地域の方々、小学校時代に心・技・体の土台を作っていただいた船岡JSCの方々、他にも多くの人の「支え」があったからこそその結果でした。本当にありがとうございました。部員達には「支えていただいた方々への感謝」と「目標に対してぶれない情熱」を忘れずに、これからも歩んでいってほしいと思います。